

エンジニアパーク

Engineer Ring Park

私は北海道の日本海に面した港町で生まれました。高校と大学では寮に入り、同期や先輩、後輩に恵まれ、現在の会社にも大学に学校訪問に来た寮の先輩に誘われて就職しました。

入社数年で幸運にも新規下水処理施設の管理責任者を任せられました。上司や先輩にご指導いただきながら施設の運転と事業所を立ち上げたことは、自分の技術者としての基礎になっています。

弊社は道内外において上下水道施設運転管理等の水関連事業を展開し、創業当初から「設計・施工・維持管理を一貫してできる企業」を目指して技術士をはじめ多くの資格取得について推奨しております。私は、維持管理に技術士資格まで必要なのか？と想过いましたが、ある日、『工学とは数学と自然科学を基礎とし、ときには人文社会科学の知見を用いて、公共の安全、健康、福祉のために有用な事物や快適な環境を構築することを目的とする学問である(工学における教育プログラムに関する検討委員会、1998年)』という『工学の定義』を見て感銘を受け、自分も業務の幅を広げ、より社会に貢献できるエンジニアになりたいと思い、上下水道部門への挑戦を決めました。資格取得後は共同企業体での技術提案書作成や海外での下水処理施設の運転指導業務など貴重な経験をさせていただきました。また、高校時代の友人から機械部門の技術士体験論文の作成協力を依頼され、休日に友人宅に籠って異分野の論文を読み漁ったことも良い思い出です。技術士資格はたくさんのお出会いと成長の場を私に与えてくれました。今後も一人でも多くの方が取得できるよう協力していきたいと考えます。これからも周囲への感謝の心を大切にして工学の定義に恥じない技術者を目指して自己研鑽してまいります。

橋本 毅 (はしもと たけし)

- 上下水道部門(下水道)
- 衛生工学部門(廃棄物処理)

勤務先

株式会社 データベース
 常広事業所



→次号は、西田 光さん(建設部門)

1986年(昭和61年)、生まれ育った旭川市に本社を置く建設会社に入社してから今日まで、多岐の土木工事に従事してきましたが、なかなか山あり谷ありの技術者人生でした。

入社当初、当時はまだ豪傑な諸先輩が多かった時代でもあり、とにかく怒られる毎日で何度もくじけそうになりましたが、最初に赴任した現場で完成させた構造物を前にしたとき、今まで経験し

たことのない深い達成感を得て、もの作りの楽しさを知りました。翌年から、2つのロックフィルダム建設工事に15年間従事し、最初の基礎掘削から最後の試験湛水までダム建設の全てを経験しました。工事期間中、たくさんの技術士の方にお会いしその豊富な知識や高い判断力を持って業務にあたる姿に感銘し、少しでも彼らみたいな技術者に近づきたいと思ったことが技術士を目指す原点でした。ダムの完成を機に技術士試験への挑戦を開始し、当時は唯一の情報源であった市販本のみを頼りに見様見真似で論文を作成し試験に挑みましたが、全く歯が立ちませんでした。その後も受験を続け、6度目の試験まであと1カ月に迫った2008年(平成20年)7月初旬、関東への現場赴任が急に決まり受験地の変更期限が過ぎていたためこの年の試験は諦めていたところ、同月末、会社が経営破綻して関東赴任がなくなり、再び受験の機会が巡ってきました。複雑な胸中のなか、何とか再就職が決まったことで奮起し、この年の試験で最初の技術士を取得しました。この経験によってすっかり技術士試験に魅了され、一昨年来まで毎年試験を受け続けておりました。私の技術者人生もいよいよ終盤を迎え還暦の2文字が頭をよぎる歳になりましたが、最後まで土木技術者を全うすべく、研鑽を継続していく所存です。

岡崎 竜志 (おかざき たつし)

- 建設部門(施工計画、施工設備及び積算/鋼構造及びコンクリート)
- 農業部門(農業土木)
- 総合技術監理部門(建設)

勤務先

荒井建設株式会社 土木技術部



→次号は、佐藤 勉さん(建設部門)